



ありんこ 省エネ村 通信

2007年12月発行



ありんこ省エネ村役場

ありんこソーラーマイレージ・クラブ

協力：愛知県地球温暖化防止活動推進センター

インドネシア・バリ島では

いま地球温暖化防止のためインドネシア・バリ島には190カ国1万人以上の人が集まってCOP13という国レベルの約束事に関する会議をひらかれています。

私たちも地球市民の一人として省エネやリサイクル、無駄をなくして自然環境の保全に目をむけ、行動してきました。そしてみんなで“続けること”が大事、ということにも気がつきましたが、COP13は環境やエネルギーの問題に改めて目を向けるいい機会です。

会議では、地球温暖化によって海氷の減少が進めば、北極圏に約2万頭生息するシロクマの生態に重大な影響を与えると警告。氷の下に隠れた主食のアザラシが食べられなくなり、氷雪の中で隠れて出産することもできなくなるからです。



ありんこ省エネ村の活動は2年目に入りました

2005年にスタートした「ありんこ省エネ村」は、ありんこ作業所の仲間が愛知県地球温暖化防止活動推進センターを通じて、愛知県の委託事業として受託しました。

「環境と福祉をつなぐ環境家計簿活動のための福祉施設を中核とした地域コミュニティ定着事業」をテーマに、活動をすすめてきました。

村民は2005年～2006年に106名になり、さらに新規100世帯の参加を目標にすすめてきました。また村役場のシステムの改良をはかりデータ処理の効率化をめざしました。年3～4回の環境家計簿通信の発行や省エネ茶話会の開催なども計画していました。

省エネ村の活動はいろいろなところでアピールして、新聞記事やケーブルTVでとりあげられましたが、「ありんこ省エネ村」の通信ここしばらくが滞っていました。でも活動は続いています。

“領収書”は地球温暖化防止の行動のあかし

みなさんの毎日の家庭生活での省エネ活動の成果を表現した、毎月の水光熱の“検針票”や“領収書”は地球温暖化防止の行動のあかしでもあります。どうぞ“検針票”や“領収書”のデータをおよせください。



1 昨年間の活動の成果(二酸化炭素削減量) – 再掲載

2005年	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分
二酸化炭素(kg)	302kg 削減	491kg 削減	267kg 増加	597kg 削減	20kg 増加	1948kg 増加
有効回答数	48	70	62	61	62	57
2006年	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分	6月分
二酸化炭素(kg)	2688kg 増加	380kg 削減	66kg 削減	234kg 増加	644kg 削減	246kg 増加
有効回答数	55	48	40	34	25	32

データの回答数も減ってきています。CO₂は削減したいのですが、回答数までも減らしたくありませんね。

省エネ村の村民をどうかお続けください

ヒマラヤ山脈では氷河がとけだしてとんでもない壊滅的な被害が予想されています。ヒマラヤ山脈の氷が溶けてできる氷河湖は、人口が集中する南アジアの主要水源となっていて、毎年水害で大きな被害を被っているそうです。

12月3、4日と大分県別府市で開かれた「第1回アジア・太平洋水サミット」に出席した登山家の野口健さんによると、ネパールのイムジャ氷河湖は、1960年代には小さな水たまりのようだった。だが現在は半径1キロ、水量2900万トンになっている。決壊の危険性も指摘され、付近の住民は非常に大きな懸念を抱いている」と。

サミットにはヒマラヤ山脈にある王国、ブータンのキンザン・ドルジ首相も出席。同首相は、大国が議論している間もブータンのような小国は影響を実感し続けているとし、「わが国は温暖化の原因を作っていない。にもかかわらず、氷河の溶解といった温暖化の悪影響が国内で散見される」と発言しました。

大きな被害をもたらした1994年の氷河湖決壊以来、同国ではさまざまな予防措置を取ってきました。しかしドルジ首相は、気候変動の脅威が増している今こそ国際的な行動が必要だと訴えています。

データをもとに省エネ生活を確認することは、地球を救います

温暖化防止のニュースや自治体のキャンペーン、大型スーパーもレジ袋からマイ・レジ袋運動とさまざまな工夫を訴えています。できることから始めて、できることを続ける消費や整理や効率化の生活。そしてそれって“快適”なはず。『もったいない』『ありがとう』『いただきます』『どうぞ』『少しでも〇〇』は気持ちのいい生活、健康な生活のはず。

でもデータや領収書から生活を見ると、暮らしや経済が大変、期待がもてなくて絶望、もうこんな生活は嫌！という方もいるかもしれません。だからこそ、せめてデータと生活の工夫を共有しませんか。

子どものすぐの未来がたいへん できないようにするために

地球の健康は子どもの健康を守ること、障がいをもった人や高齢者を応援することにつながります。『食』にも直接関連します。これまで「ありんこ省エネ村」でデータとりに参加された方は、どうぞ引き続きご継続ください。そしてこれからやってみようという方、どうぞ村民になってください。

みんなが環境やエネルギーに意識もつまちは、子育てや福祉、健康に力が出せるまち、というのが「ありんこ省エネ村」からの提案です。



データがわからない分は

昨年4月からのデータが必要です。村民の方のデータで不足分をこちらからお知らせしますので、どうかお手数ですがその分を拾っていただけませんか。

また、領収書の紛失等でわからない場合は中部電力、東邦ガスに電話でお問い合わせいただければ、お客様番号をお伝えいただいて<契約者のご自宅へ>お知らせいただけます。

※ 平成18年分の同月使用量は当月の領収書に記入されています。

※ お住まいによって営業所がちがいますが、名古屋市昭和区の方の場合は、

中部電力熱田営業所 052-740-2400

東邦ガス星が丘営業所 052-781-6131

灯油の使用も大きいので

あわせて石油ストーブとかで灯油をご使用でしたら、領収書等でお確かめの上、リットル単位でご記入していただくようお願いいたします。(例; 1ヶ月灯油4本でしたら×18ℓ=72ℓです)

以上、村民のみなさまには大変お手数をおかけすることになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。なお、遠方の方やFAXが使えない方に、ご記入はがきを同封いたしますので、ご返送ください。

この件につきましてのお問い合わせは、

ありんこ省エネ村・ソーラーマイレージクラブまで、お願いいたします。

原油価格高騰で省エネ？ 燃料費調整単価のしくみに

毎月の電気、ガスの使用量を調べていて、気づいたのですが、電気、ガスの単価は、こまめに変動しているのですね。電気ですと燃料費調整単価というもので上乘せします。

ガスですと料金単価がこまめに変動しています。十月分ですと昨年との比較では、電気で48銭/KWh、ガスでは3円33銭/m³高くなっています。

原油価格高騰という、すぐにガソリンのニュースになりますが、もっと身近なエネルギーも高騰しています。これから寒くなるのに、灯油の値上がりもひどくいやになりますね。

電気をこまめに消し。ストーブは温度をあまりあげずにと省エネ努力はしていますが、料金が下がらないことにも怒っている村民もいます。

ありんこソーラー・マイレージクラブは

ありんこ省エネ村の村民とPV-Net 中部地域交流会の会員が共同して、太陽光発電設備等の設置や様々な省エネルギー対策を地域で工夫&実施し、地域ぐるみでCO2削減対策の実現を図ります。

ありんこ省エネ村

ありんこ作業所(授産施設)が地域の家庭を対象に、毎月各家庭での環境家計簿活動を集約するとともに活動の成果を環境家計簿通信として各家庭に返し、省エネ茶話会という定期的な集会を開催して活動のふりかえりを行っています。

PV-Net 中部地域交流会

PV-Netは太陽光発電所ネットワークという全国に広がるNPO法人です。太陽光発電設備の設置者が発電や省エネのデータをとり、太陽光発電普及の活動を展開しています。PV-Net会員のソーラーマイレージクラブへの参加を募ります。



ありんこソーラーマイレージ・クラブの活動



アリソラ

今年度はNPO 法人太陽光発電所ネットワーク（略称；PV-Net）と共同して、ありんこソーラーマイレージ・クラブの活動として、省エネ村の活動をさらに推進しようとしています。

省エネ機器の貸出やイベント、勉強会なども開いています。ご案内が行きわたらず知らなかったという方もありますので、これからいっそう丁寧に連絡をとらせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。

知って役立つ 省エネヒント

身近な省エネテクニックのご紹介です。ご存知のものもあるかと思いますが、もう一度おさらいしてみましょう。

冷蔵庫の開きっぱなし防止ブザー

生活必需品の冷蔵庫です。その開閉回数や開放時間の長さが、冷蔵庫の冷却に負荷をかけることはよく知られています。

冷蔵庫への詰め込みをさげたり透明ビニールの仕切りを付けたりの工夫もあります。これは冷蔵庫を開くと室内ランプが点灯し、点灯を感知してオルゴールが鳴るようにしました。

開くと鳴るのでせわしなくなりますが、効果があります。



村役場だより

省エネ茶話会は日程がきまいしだい、お知らせいたします。

イルミネーションのグリーン化キャンペーンにあなたも



これからの季節、街を彩る様々なイルミネーションは、道行く人の心を和ませてくれます。町内や個人のお宅やでも点灯され、イルミネーションは冬の風物詩になっています。

しかしその一方で、年々その規模を増すイルミネーションがエネルギー消費の増加の一因であることに変わりありません。

あなたも「クリスマス・イルミネーションのグリーン化」キャンペーンに参加しませんか。イルミネーションは電力消費を免れないものではありませんが、街のシンボリック的存在であり、子どもたちが楽しみにしていることもあります。このイルミネーションを「グリーン化」することは、地域住民のエネルギー意識向上や環境のまちづくりにつながる絶好の機会になるでしょう。

太陽光発電グリーン電力証書付きクリスマスカード（3枚1組¥600）の購入で、10kWh分のイルミネーションのグリーン化キャンペーンに参加したことになります。

お問い合わせは、ありんこ省エネ村までお願いいたします。

省エネは「わかっちゃいるけど」→「やってられない」という方が大半のようで、中には「わかっちゃいるけど」→「忘れちゃう」とか「やめられない」という方も。次回は、この“→”に対応する、『省エネ機器』のいろいろをご紹介します。